

広帯域CATV・BS・CS用保安器

アレスタ型 (10~2150MHz対応)

MODEL
NHS-G1

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

●特長

1. 保安用アレスタ及びコイルが組み込まれていますので、誘導雷等の異常高圧からテレビを保護します。
2. ステンレスシャーシ及びカバーの使用により、耐食性、耐候性に優れています。
3. シャーシとカバーを圧入取付けしておりますので、漏洩に対して優れた遮蔽性能を有しております。
4. 本製品は、全帯域における挿入損失が少なく、さらにVSWR特性も優れている広帯域保安器です。
5. 本器は電流通過できませんので、パラボラアンテナ等へ電源供給する場合には、CS受信用避雷器HPC-75Pをご使用ください。

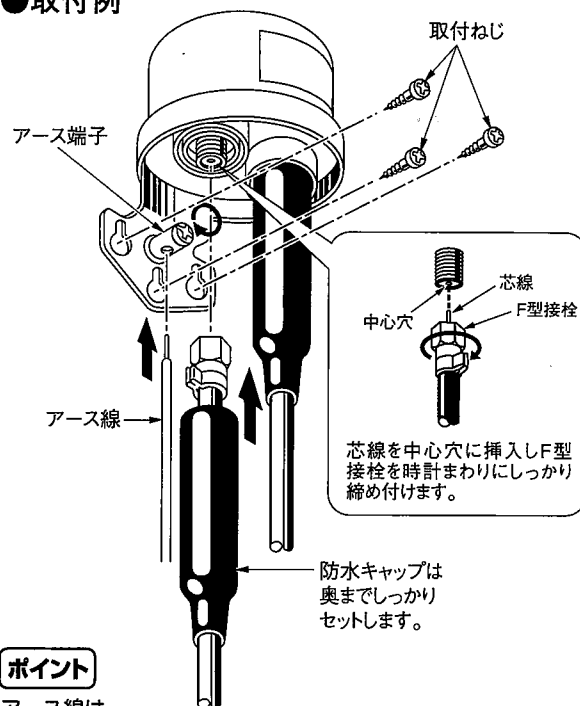
■使用上の注意

1. F型接栓は、規定のトルク以上で締め付けしないでください。規定値は2.7N・m以下です。締め付けが過度になると破壊や故障の原因になります。
2. 金属製家屋外壁に直に取付けしないでください。また、取付け板使用時は、取付けねじは外壁に当らない長さのものをご使用ください。長くてねじが外壁に接触していると外壁にアースが落ちる危険性があります。
3. 本器は電流通過できません。共同受信等で使用の際は、アンテナやブースタ等への電源供給にはご注意ください。

■規格表

項 目	性 能			
周 波 数 帯 域 (MHz)	10~770	770~1336	1336~1895	1895~2150
挿 入 損 失 (dB以下)	0.8	1.0	1.5	2.0
電 圧 定 在 波 比 (以下)	1.8	1.8	2.0	2.5
絶 縁 抵 抗	DC500V 1MΩ以上			
絶 縁 耐 圧	AC1000V (1分間)			
耐 雷 性	正負各々5kV/200μsecのサージ電圧に耐える			
使用温度範囲(℃)	-20~+40			
寸 法 (mm)・重 量 (g)	高さ74 幅64.6 奥行70.3 ・ 100			

●取付例



ポイント

アース線は、取付ねじで確実に固定してください。

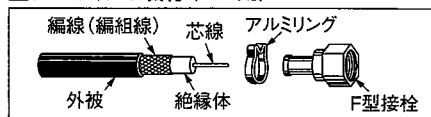
- 3本の取付ねじで保安器を固定してください。
- アース線は10mmほど被覆をむいて本体下部のアース端子に挿入し、ねじ止めしてください。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより大きい場合は、ピン付コネクタを使用してください。

●同軸ケーブル加工法とF型接栓取付方法 (別売品)

◆用意するもの

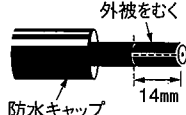
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■ケーブルの名称 (75Ω用)



●アルミ箔付同軸ケーブル (FB型) の場合のアルミ箔処理は絶縁体と同様に加工してください。

1. カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)



防水キャップはケーブルに合せて切断し、必ず先にケーブルに通しておきます。

2. 外被の皮をむきアルミリングを通しておきます。
3. 外被から2mm程度はなして編線 (編組線) をていねいに切り落としてください。
4. 編線 (編組線) をめくりあげます。

ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線と編組線が接触していないかを確認してください。
- 芯線に付着物がなければ確認し、ある場合には、きれいにとってください。

5. 編線 (編組線) から3mmはなして絶縁体を切り、抜きます。

6. F型接栓を絶縁体 (アルミ箔) と編線 (編組線) の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。

7. 芯線の先端は1~2mm出し、斜めにカットしてください。長くしますと接栓座を破損します。

芯線は斜めにカットすると挿入しやすい

情報通信が仕事です。

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03) 3893-5221 (大代)

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

D814004500 平成15年11月